

新型コロナウイルスの流行により、私たちの日々の生活は一変し、ややもすると暗く憂鬱（ゆううつ）な気分になりました。しかし、私は卒業生の皆様の元気に頑張る姿に「困難の中でこそ鍛えられるものがある。非常時に希望の種をまくのが大事だ。」と教えられたように思います。

大袈裟（おおげさ）ですが、皆様の作る新しい希望によって、世界はきつと、再び輝き始めることができます。

緊急事態宣言下であっても春は今年もめぐってきました。花は咲き始め、風は春めいてまいりました。皆様の新しい希望が準備されつつある春です。

そのような本日、学校法人ワタナベ学園吉川福祉専門学校第二十回卒業証書授与式を挙行できますことは、感慨深く、誠にありがたいことです。私も、大きな安堵と喜びとともに皆様への感謝の思いでいっぱいです。

新型コロナウイルスの流行防止のため、ご来賓のお言葉をいただけない、在校生の見送りもない卒業証書授与式になつてしまったことがとても残念です。

皆様は、本校で介護福祉士の国家資格取得を目指して熱心に真面目に丁寧に学んでこられました。特に国家試験に向けて皆様が試験直前まで先生のご指導の下、協力しながら勉強に励む姿はとても頼もしいものでした。皆様には大きなプレッシャーであったことと思います。一月末に行われた国家試験の結果発表は三月末です。きつと努力が報われ全員が合格しているものと確信しています。

また、施設での実習は二年間通算で450時間を超えるものでした。4回の内、特に後半は新型コロナウイルスの流行

とも戦いながらの実習でありました。実習が終えるたびにたくましくなり、自信を深めていかれる皆様の姿に驚きのまなざしを向けると同時に頼もしさを感じたものです。

学校としては、皆様の学ぶ意欲に対して、全力でサポートしようとしてきたところですがなかなか行き届かないところもあつたのではないかと思います。卒業後も、今まで通り皆様へのサポートをお約束します。現場で何か行き詰まつたり、相談したいことができましたら是非、気軽に吉川福祉にお立ち寄りください。私たち職員一同、大歓迎です。

皆様はこれからの日本の社会の希望です。皆様には大きな力があります。より良い社会、より良い介護の実現は皆様に託されています。まずは、一人一人が介護サービスの利用者に真摯に向き合い、利用者と共に生き生きと幸せな毎日を送ることが第一です。とびきりの笑顔とあふれでる元気で日々の仕事と日々の生活の両方を楽しく充実したものにしていくてください。地域の活性化や発展のもと皆様の活躍です。私は皆様が日々の介護福祉士の仕事を通して、介護の現場を、日本の介護の未来を、新型コロナウイルスの流行終息後の日本の社会を明るくしてくれと確信しています。

いよいよ、旅立ちの時です。本日まで見守ってくださったご家族の皆さんやお世話になったすべての方々に感謝し、介護の世界に飛び立ってください。

吉川福祉専門学校は、いつまでも皆様を応援しています。

令和三年三月十五日

学校法人ワタナベ学園吉川福祉専門学校長 久田晴實